

8 水道のあゆみ

北九州市の水道は、いつごろつくられ、どのように広がったのだろう。



●水道のはじまり



井戸水を使っているようす



「水屋」のようす

水道がなかったころ、人々はおもに井戸の水を使っていました。しかし、そのまま飲める井戸水が少なかったのです。その後、明治のなかごろ(約100年前)になって人口が急にふえてきたので水が不足しました。そのため、人々は毎日のくらしにたいへん困りました。「水屋」と呼ばれる人たちが、きれいな井戸の水をおけで運び、まちで売り歩いていたのもこのころです。



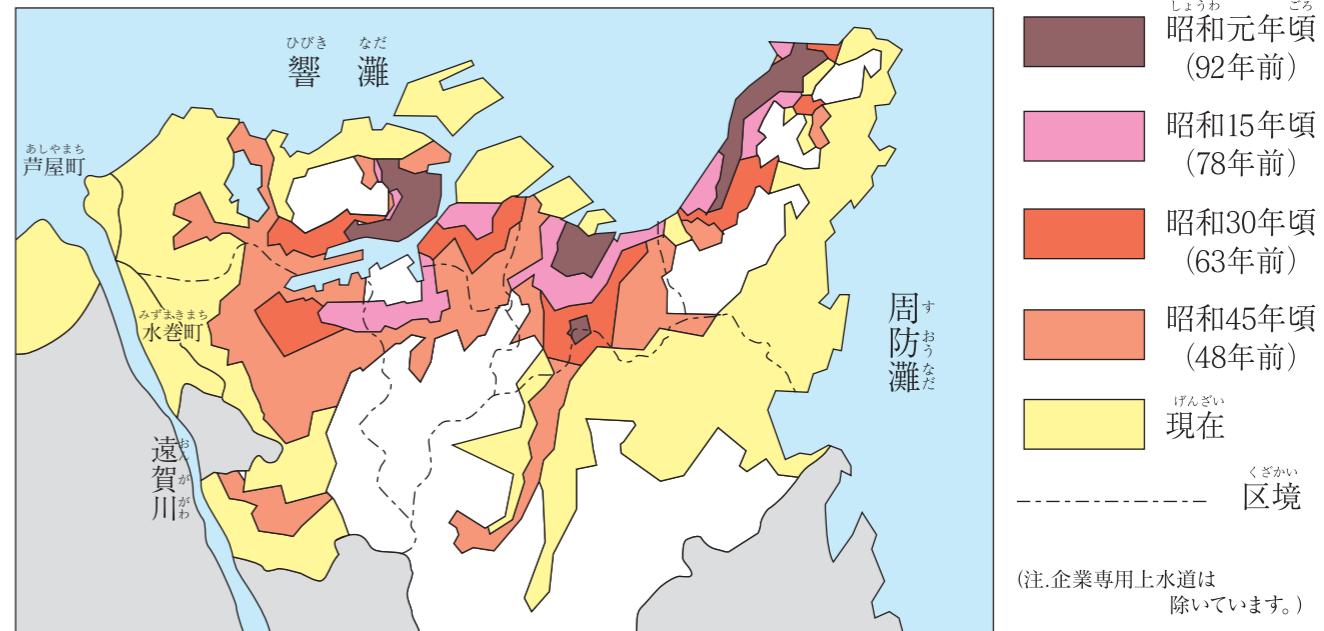
明治35年(116年前)	443人
明治40年(111年前)	381人

そのうち、門司でコレラなどの伝染病が何回もはやるようになりました。よこれた井戸の水が原因で、病気が広がっていったのです。「病気をふせぐために、ぜひ水道をつくってほしい」という町の人たちの声が高まっていました。そこで、明治44年(107年前)北九州市で初めての水道が門司にできました。

●水道の広がり

その後、若松、小倉、八幡、戸畠の順に水道がつくられ、人口がふえたり、工場ができたりして、水がたくさん使われるようになるにつれて、下の図のように水道が広がっていきました。

北九州市の水道の広がり



(注)企業専用上水道は除いています。

●北九州市の水道のあゆみ

明治44年	1911年	門司の一部で給水をはじめる。	昭和49年	1974年	ます渾貯水池ができる。
明治45年	1912年	若松で給水をはじめる。	昭和58年	1983年	遠賀川河口堰ができる。
大正2年	1913年	小倉で給水をはじめる。	〃	〃	ほんじょう本城浄水場ができる。
昭和5年	1930年	八幡で給水をはじめる。	昭和61年	1986年	やばけい耶馬渓貯水池ができる。
昭和6年	1931年	戸畠で給水をはじめる。	平成3年	1991年	へいせいおおぜき平成大堰ができる。
昭和27年	1952年	北九州水道組合ができる。	平成10年	1998年	平成大堰より取水をはじめる。
〃	〃	とんだ頓田第1貯水池ができる。	平成19年	2007年	あしやまちじきょう芦屋町の水道事業を北九州市水道局が行う。
昭和34年	1959年	頓田第2貯水池ができる。	平成23年	2011年	北九州市に水道ができる100年になる。
昭和36年	1961年	あのおじょうすいじょう穴生浄水場ができる。	〃	〃	むなかたししんぐうまち宗像市・新宮町に水道水を送りはじめる。
昭和38年	1963年	たんじょう北九州市が誕生する。	平成24年	2012年	げすいどうふもん下水道部門と一緒にになって北九州市上下水道局となる。
昭和39年	1964年	かいさん北九州水道組合を解散し、北九州市水道局となる。	〃	〃	みずまきまちじきょう水巻町の水道事業を北九州市上下水道局が行う。
昭和40年	1965年	りきまる丸方貯水池ができる。	平成27年	2015年	おかかきまち岡垣町に水道水を送りはじめる。
昭和47年	1972年	あぶらぎ油木貯水池ができる。	平成28年	2016年	ふくしつこがし福津市・古賀市に水道水を送りはじめる。
〃	〃	いでうら井手浦貯水池ができる。	平成29年	2017年	かわらまち香春町に水道水を送りはじめる。

★指導上の留意点★

芦屋町と水巻町では北九州市が水道事業を行っていることや、宗像市・福津市・古賀市・新宮町・岡垣町・香春町へは北九州市の水道水が送られていることと併せて、P.9~10と関連させて、市外に貯水池があることにも気付かせ、お互いの市や町が連携していることについて考えさせてください。